



16 わけてみよう

いくつかに分けることで、共通の特徴を見つけ出すことができます。見つけたものを自分たちの基準で分けてみることで、自然の中から特徴あることを見つけ出す力を育てます。



ねらい

自然物の雑多な特徴の中から、一般化できる特徴を見出すことができるようになる。

達成目標

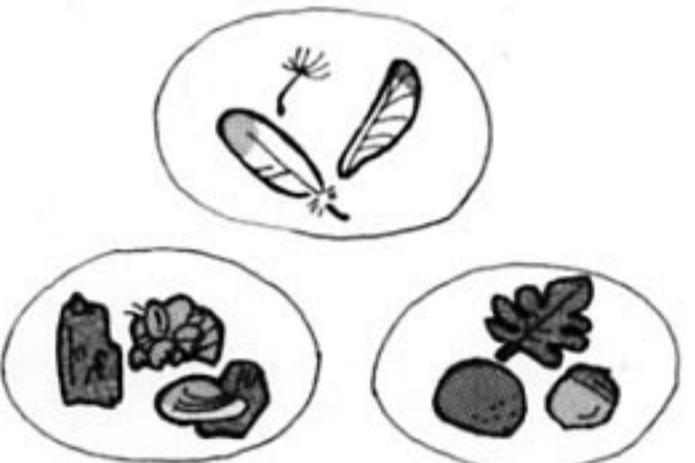
- ・自分の基準で物を分けることができるようになる。
- ・分け方の基準について3つ例をあげられるようになる。



導入

10個の物を使って、先生が分け方の例を示す。自然の中からおもしろいもの、不思議なもの、季節を感じるもの、目にとまつたものなど一人5つずつ集めてくる。

何の基準でわけてたのかな？



展開

5人ずつ一緒に（25個の物が集まる）、相談して基準を決め、2~3のグループに分けてみる。他のグループが何の基準で分けたか、あてっこしてみる。

まとめ

分け方にどんなパターンがあるのか、皆で出し合ってみる。特徴をみつけるコツがあったかどうか話し合ってみる。

実施のポイント

自然物の中から見出せる特徴をブレーンストーミングのようにたくさん出し合ってみるとよい。



◆所要時間	45分
◆人 数	~40人
◆関連科目	国語、理科
◆焦点を当てる能力	探す、発見する、比べる 分ける
◆準備するもの	特になし
◆安全のポイント	探しものをする場所の範囲を 明らかにしよう。

評価の視点

自分たちで特徴を見出せることも大切にしたい。グループワークなのでグループの中で自分の意見がいえる、他人の意見がきけることを大切にしたい。

発展・応用

自然界の分数基準について調べてみよう。その基準で自然を観察してみよう。

参考文献

オリジナル／「自然教育研究センタープログラム」
類似プログラム／「GEMS」

16 わけてみよう



◆自分たちのものを分ける時、他のグループのものを見定める時に記入してみましょう。

① グループにあるもの

①

① グループの特徴

① グループの特徴

② グループにあるもの

②

② グループの特徴

② グループの特徴

③ グループにあるもの

③

③ グループの特徴

③ グループの特徴

◆結論

分け方の基準

感想・気づいたこと